

## 留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

### 留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	授業料 約50万円 プログラム参加費 約4万円
保険料	現地大学保険約4万円 明治大学保険約3万円 計7万円
宿舍費（1か月あたり）	約5万円
食費（1か月あたり）	約1万2000円
渡航旅費	約28万円

### 滞在形態関連

1) 種類
寮
2) 部屋の形態
相部屋（6人部屋）
3) 設備
シャワー、お風呂（浴槽）、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、電話、宅配ボックス。

## 4) 住居を探した方法

ディズニーの指定

## 現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

はい。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。麻疹、風疹、おたふくの3種

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人、大学の先生

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

ディズニーの寮の中は比較的安全でした。

盗難対策として貴重品は部屋の鍵付きロッカーに、その他大事なものは自分の部屋の中に保管して、共用部分に出さないようにしていました。

7) パソコン、携帯電話、インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

外では現地で買ったSIMカードを利用し、寮の中では寮のWi-Fiを使用していました。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

隔週で振り込まれる給料でやりくりしていました。

9) 利便性、買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

スーパーに行くためのバスが出ており、それに乗って生活に必要なものをそろえていました。そのほかにも、すぐ近くに薬局があったり、1\$ショップがあったりなど、生活に必要なものはすべてそろえることができました。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

クレジットカード

11) その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

渡航について
1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？
留学先大学のピックアップサービス
2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？
はい。10日間ほど、フロリダ州立大学にて、授業を含めたオリエンテーションがありました。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）
履修した授業科目名
Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
現地でのコミュニケーションについて、日本との違いに触れながら学んでいく。 ディズニーで働く上で現地の人との話し方を事前に知っておけたのはすごく役に立った。

履修した授業科目名
Applied Intercultural Communication
授業内容や試験、授業を受けた感想について
カルチャーショックについて学んだり、現地の生活に適応するための方法などを学ぶ。 この授業のおかげで文化の違いにも悩むことなく対処できました。

## 留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>一番の理由は、この先一生できない体験ができるだろうと思ったからです。日本のディズニーで働くことはできるかもしれませんが、ウォルトディズニーワールドという誰もが一度は行きたいと思うような夢の場所で働くという経験は、そう簡単にできるものではないと思います。</p> <p>二つ目は、インターンシップなので自分で働いた給料で生活ができるからです。莫大な費用がかかる留学なので、なるべく親に負担をかけないようにしたかったため、初期費用のみであとは親に頼る必要がなかったのはとても魅力的でした。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>最終面接を終えてから、現地のディズニーについていろいろと調べました。また、ディズニー映画などもたくさん見て、ディズニーについての知識を増やしました。ゲストと話す際にキャラクターの話をする機会が多かったため、とても役に立ちました。英語の勉強も少ししたのですが、もっと単語を勉強しておけばよかったと思いました。現地で英会話をする際、必要なのは難しい単語ではなく基本的な単語ばかりだったのですが、思っている以上に簡単な単語や表現が出てこず、苦戦をしていたからです。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>使用頻度が一番高かったのはウォルトディズニーワールドの公式アプリです。ほとんどのゲストがそのアプリを使っているので、自分がパークに行く際のみならず、働いている時にゲストに説明するときにもそのアプリを使用することが多かったです。</p> <p>「Crystal Ryder」というアプリは、出勤する際の寮からディズニーに行くためのバスの時刻表が見られるのですが、毎日出勤時間が異なるので、このアプリもよく使っていました。ウェブサイトよりもアプリのほうが見やすいので、サイトはほとんど使いませんでした。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>二種類の仕事を体験したので、それぞれの同僚と仲良くなりましたが、場所によって様々でした。全体的にとっても明るい職場で、上司もとてもいいひとばかりでした。日本ほど縦の関係がなく、上司のほうから寄り添ってきてくれたので、とても働きやすかったです。僕の職場の仲間はとてもフレンドリーで、気さくに話しかけてくれる人がほとんどでしたが、中にはアメリカ人以外とは一切口を利かないような人もいました。同じプログラムに参加している人同士はとても仲良く和気あいあいとしていました。</p>

滞在先の雰囲気	<p>ビスタという一番滞在費用が安いところに宿泊したのですが、清潔感はありませんでした。二人部屋だったので、ブラジル人のルームメイトと半年間、過ごしていました。広さは十分で、収納も便利でした。窓はありますがほぼ開けることはなく、部屋の喚起は換気扇のみでした。現地の気候の関係で、ずっと室内は空調が効いていました。寮全体はとてもおだやかな雰囲気、ジムやバスケットコートなど、運動できる場所も多くあり、リフレッシュすることができました。</p>
留学先における交友関係	<p>明治から参加した友達はもちろん、仕事の同僚などとも仲良くしていました。休日にパークに遊びに行ったり、ショッピングに出かけたりなど、遊びの自由度は高かったです。同僚には、ホームパーティーに誘ってもらったり、車で遠くに連れて行ってもらったりなど、現地でしかできない体験をたくさんさせてもらいました。仕事終わりに寮まで送ってもらうことも多く、同僚には助けてもらうこともありました。また、ルームメイトには、ディズニーに着いたばかりのころに全体を案内してもらい、とても助かりました。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>はじめの頃は英語のリスニングにとっても苦労しました。ただの日常会話を聞き取るのですら一苦労だったのですが、電話越しの英語や、訛りの強い英語など、イレギュラーなシチュエーションも多く、慣れるのに時間がかかりました。</p> <p>また、ルームメイトとの問題も多くありました。お皿を洗わなかったり、深夜まで音楽をかけていたりなど、些細なことで問題になることがあり、その都度話し合っ解決をしたのですが、とてもそれがストレスでした。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>毎週課題がオンラインで出され、与えられたテーマに関するレポートと、グループでのオンラインディスカッションが交互に課されていました。レポートはあまり大変なものではなく、休日を使って毎回取り組んでいました。内容は仕事に関するレビューだったり、文化の違いについて述べるものだったりが多かったので、課題に取り組むたびに自分の体験や思ったことなどを文字にして整理でき、それまでを振り返るいい機会になっていました。</p>

<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>フロリダ州立大学では、毎日朝からオリエンテーションや授業を受け、お昼ごはんを挟んで再び授業を受けた後、現地の大学生とレクリエーションを楽しんだり部屋で課題に取り組んだりしました。時差ぼけもあり、朝からの授業はとて大変でしたが、そのあとのレクリエーションのおかげでメリハリをつけて過ごすことができたと思います。現地大学生が率先して僕たちとの交流の機会を作ってくれたので、一緒にサッカーをしたり映画を見たりご飯を食べたりなど、とても楽しむことができました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>来たいと不安が入り混じっていると思いますが、終わった後には胸を張って楽しかったと言える半年間になると思います。職場や交友関係など、困難なことが多々待ち受けていますが、何事にも臆せず、前向きに立ち向かっていけば必ず克服できます。日本人以外と関わる機会が多いですが、何か困ったことがあったら、一緒に参加する明治の仲間と悩みや経験を共有して、助け合ってください。これから起こることひとつひとつが新しい経験になると思うので、必要事項以外の前情報はあえて調べずに行くことをお勧めします。</p>